

1 平成31年度の学級編制について

次年度の学級編制を判断するため、児童、生徒に関し、先般10月1日付けで教育局へ報告を行ったところ、転居等に伴う児童・生徒数の減少に伴い、次年度の学級編制数の減少が予測されますので、その概要と対応方針についてご報告申し上げます。

はじめに、朝日小学校においては、更に複式化が進み、全体で3学級に、新冠小学校では、基準の変更や、児童数の減少により、新3年生と新6年生が2学級から1学級に、新冠中学校においても、生徒数の減少により、新3年生において、2学級から1学級の編制となる見込みであります。

このような状況から、11月14日に開催されました総合教育会議において、町長と問題を共有させていただき、対応の基本事項を次のとおり確認させていただきました。

まず小学校に関し、朝日小学校につきましては、2名配置している町費教職員は、次年度も引き続き朝日小学校に配置することとい

で、ご理解を頂きますよう宜しくお願い致します。

6 高江八木排水樋管の損害賠償の和解

次に、平成28年10月20日、第2回臨時会において行政報告をしました高江地区八木排水樋管の訴訟案件について、その後の経過及び和解につきまして、ご報告申し上げます。

平成28年8月22日から23日にかけての台風9号による災害発生時に、町の樋管管理が原因で放牧地が冠水し、被害を受けたとのことから、被災農家からおこされた損害賠償請求事件について、平成30年11月30日の進行協議期日において、原告より和解に応じることが確認できましたことから、損害賠償の和解及び損害賠償の額を定めることについて、今定例会に議案として提出するものであります。

被災農家に対しましては、災害発生から長きにわたりご迷惑をお掛けしたことに、心より深くお詫び申し上げますとともに、今後の手続きについても迅速に取り進め、誠実に対応して参りたいと考えているところでございます。

今後、このようなことがないように再発防止に努めて参ります。

て実施を検討することとしておりますが、本年度は値上がり傾向が続き、基準としております、本町における11月1日現在の灯油価格は1リットル当たり消費税込みで平均102円程度と、昨年同時期と比べて20円ほど値上りしている状況です。

つきましては、今後も高値水準が続くと予想されていることから、影響を特に大きく受ける方々への支援が必要と判断いたしましたして、「あつたか灯油券」として支給させていただきます。

対象となる方は、これまで同様に「65歳以上の高齢者世帯」「障害者手帳をお持ちの方がいる世帯」及び「ひとり親世帯」の方々、その他これらに準ずる世帯として、65歳以上の高齢者と18歳以下のみで構成される世帯の方で、本年度の町民税非課税世帯に該当する方々とし、灯油券1万円分を支給させていただきます。明年1月中旬から受付を開始する予定としております。

5 浦河赤十字病院精神科病棟の廃止

浦河赤十字病院の精神科における診療体制につきましては、平成26年10月から病棟を休床し、外来

診療についても出張医師の継続確保が困難となったことから、本年9月1日から休診として現在に至っているところでございます。

このたび、浦河赤十字病院から4年余りの期間を休床としている精神科病棟につきまして、これまで病棟の再開に向け常勤医師等の確保に努めていたが、依然医師確保の目的が立たず、病棟再開が極めて困難な状況にあることから、今年度末をもって精神科病棟を廃止にしたいといった協議が日高町村会7町へあつたところでございます。

また、浦河赤十字病院は厳しい経営状況が続いておりますが、精神科病棟の廃止による病床の転換により収益の改善が期待できますこと、廃止した精神科病棟につきましても福祉施設等への有効な転用について検討を進めていきたいと思います。

町としましても、これまで、地域の精神科医療の体制の維持に向け、日高町村会7町と連携しながら対応していたところでございますが、浦河赤十字病院としましても厳しい財政状況に加え、医師や看護師確保などの難題がある中で検討を重ねた結果でございます。

2 給食費無償化による各校の状況について

確認させていただきました。今後、保護者の皆様への現状説明を行った上で、次年度に向けた準備を進めてまいります。



学校給食無償化スタート

本年4月から給食費無償化の取り組みをスタートさせておりますが、本事業実施から、約半年経過した中で、公会計化による無償化事業に関し、事業改善につなげることを目的にアンケートを実施致しました。

アンケートは、小学校6年生、及び中学校3年生と教職員も対象

に加え、給食の「味」「品数」「量」「前年との比較」の4項目と、給食に関する自由記述の内容とし実施致しました。アンケート結果から見られる傾向は、総合的に品数や量については、「改善が見られ満足度のいく内容である」との回答が多く、「味」については、総体で6割の回答者が「おいしい」と回答しており、成果が伺える内容であると考えております。一方で、「改善が感じられない」や「量が多すぎる」などの回答もあり、今後、検討や工夫を要する課題も把握することができております。

このアンケートの結果は、給食担当者会議などで、改善点の検討に活かし毎年実施していきたいと考えております。

また、各学校で運営しております給食の私会計業務につきまして、11月8日に各学校長、PTA会長との懇談を持ち、会計に残る未収金の取り扱いについて協議を行い、未収金の処理に係わっては、教育委員会も協力しながら進めることとしておりますが、私会計は、ある一定期間を別途として閉鎖することが望ましいとのご意見も頂きましたので、今後継続して、学校、PTAにおいて協議を加えて



中学校版町政懇談会の様子

今後定期的には、給食事業の検証・評価を行うとともに、学校、調理委託業者との連携を強化し、子ども達の成長の根幹となる給食事業の充実に意を用いてまいります。